

Mi-com

武蔵工業大学後援会誌

No. 7

1992-12



第63回MIT祭イベント会場で活躍する放送会スタッフ(本文7頁参照)



ボランティア活動のすすめ

私の学生時代は戦後間もないこともあって、生活や住まい娯楽など今日とかなりことなっていた。当時私は日本赤十字社の学生奉仕団で奉仕活動をしていた。

春は花見で多数の人が集る上野公園へ、日本赤十字社の救急車を借り学生10人程で出動した。仕事としては、テントを張って迷子の保護、酔って怪我をした人などを救急車で下谷の病院へ運ぶことであった。

当時は酔って日本刀を振り回したり崖から落ちる人など種々の人がいた。また迷子を引き取りにきた親はこちらに礼も言わず、いきなり子供を叱りつける人が殆どであった。

夏休みには、日本赤十字社の車に映写機などの機具一式を積み、夕方から都内の各所に出かけ主として劇映画を上映した。当時は12歳の美空ひばりが「悲しき口笛」でデビューした頃でTVもない時代だったので、広場での映写会は毎回満員で大変喜ばれた。

その頃、日本赤十字社が行っていた「白い羽募金」の時期になると、青梅街道や甲州街道の沿線を日本赤十字社の車に拡声器を取り付け宣伝して回った。当時の同地域は、開発される前だったので武蔵野の自然が残っていた

武蔵工業大学後援会
副会長

井出 正 男



ことが思い出される。無報酬で世の中の人のために何かをするということは非常に大切なことである。

武蔵工業大学の学生に要望したいことは、東京では雪は年に一、二回程度しか降らないが雪が降った時、学生はボランティアとして雪かきをしたらどうだろう。

都会では雪が降ったとき通学などかなり大変である。環状8号道路から武蔵工業大学までの約400mの坂道の雪を、50名程度の学生が雪かきをすれば直ぐに除雪できる。これは武蔵工業大学の学生のためにもなるが、近隣の人も喜ばれると思われる。ささやかな労力で、地域の人々とのふれあいもできるのではなかろうか。雪道で滑って転んで骨折し、それが原因で寝付いてしまう老人の話を良く耳にする。

西暦2010年になると4人に1人は老人になると言われている。今後若い人のボランティア活動は一層必要になる。

東京地区の会場より報告

各地で盛況

「大学と父母との連絡会」

「大学と父母との連絡会」は、大学の立場から学生の父母に対して、本学の教育方針や現況をよく理解していただくと同時に、父母からは、学生生活上の問題点などを提起してもらい、双方で話し合いながら、改善していくという目的で毎年開催されています。

かつて、大学主催の行事であったこの連絡会も、平成元年より大学と後援会との共催になり、大学と父母との連絡もより密度の濃いものになっています。

本年も夏期休暇を利用して、北海道から沖縄まで全国25カ所で行われ、最後の会場となった東京地区では多数の父母が参加しました。



◀ 定刻前に父母で満席、体育館での全般説明

▼ 受付女性職員もキビキビと対応



集合時刻前に会場はほぼ満席

東京地区の「大学と父母との連絡会」が行われたのは平成4年9月27日(日)。会場となった武蔵工大キャンパスには受付開始の30分以上前から多くの父母が集まり、木陰のベンチでは入場までの間、爽やかな秋風に吹かれながら談笑するご夫婦の姿も見えました。

「今朝は6時に家を出て、大学の近くに下宿している息子の部屋の掃除をしてからこちらに来たんですよ。去年は主人と一緒に出席しました」と、埼玉県熊谷市から出席された電子通信工学科2年のお母さん。東京都中央区の電気電子工学科4年のお母さんは「大学院に行くと言ってるんですが、息子の話だけじゃよくわからないところもあって……」この連絡会に出席されるのは3回目だそうです。

11時20分、会場の体育館はほぼ満席。これから12時50分まで学内見学と学生食堂での試食会が行われます。父母のみなさんは、それぞれ20～25人ずつのグループに分かれ、係員に誘導されて、情報処理センター、半導体研究室、機器分析室、水素エネルギーセンターなどの見学に向かいました。



▲ 誘導係員の説明に聞き入る

情報処理センターでパソコン体験

学内見学コースの一つ、情報処理センターはキャンパス東側のほぼ中央にある4階の建物です。大型コンピューターの他に全館で合計108台のパソコンがあり、情報処理教育の充実を図るとともに各種の研究にも利用されています。

ここでは土足厳禁。全員スリッパにはきかえて入館します。1階の第1端末室で説明を聞いた後、2階の第2 T S S ルームへ。65台のパソコンが整然と並んでいます。



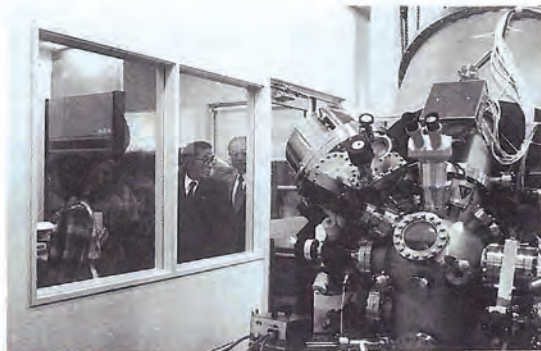
▲パソコン体験で学生気分

「みなさん、どうぞパソコンの前におすわりください。これから少し操作していただきます」という説明担当者の声に、それまで神妙な面持ちだった父母の表情がパッと輝きました。ほんの3～4回キーを押したただけでしたが、画面を見つめる父母の表情は、好奇心に満ちた子どものようでした。

また、グラウンドに展示された水素自動車に感動し、エンジンをのぞき込んで、いろいろと説明を受けるお父さん。私立大学では唯一という半導体研究室の前で係の人に様々な質問をしているお母さんなど、父母の方々の大学に対する関心と期待の高さを感じさせる態度がたいへん印象的でした。



▲無公害水素自動車の展示に集まる人気



▲私大唯一のX線光電子分析室で

学生食堂のカレーライスに舌鼓

学内見学の合間に、グループごとに学生食堂で昼食。窓が大きくて明るい学生食堂は、キャンパスの緑もよく見え、まるで郊外のちょっとしたレストランといった雰囲気です。また、全体に整然としていて清潔な感じがします。

今日のメニューはカレーライスとウーロン茶。とろみのある甘口のカレーは、なかなか美味でした。楽しそうに会話をしているご夫婦、にぎやかにおしゃべりをするお母さんたち、黙々と食べているお父さんたち……みなさんそれぞれに過ぎし日の学生気分をカレーライスとともに味わっているようでした。



▲学生食堂での昼食会

武蔵工大における大学改革のねらいとは……

午後1時、再び体育館に集合。古浜庄一学長の挨拶がありました。テーマは武蔵工大が数年前より実施している大学改革について。

まず、大学改革の第一のねらいは、社会の指導者としての立派な人材を育成することであると述べ、「世界最古の大学であるプラトンのアカデミアは、人間の幸福とは何であるか、それを達成するためにはどうしたらよいかを研究するところであ

りました」と、大学の原点について触れた後、「しかし、現代社会の諸問題——公害、地球環境の汚染、戦争など——の責任の一端は大学にもあります。それは、今の社会体制の中核を成しているのは、大学およびその卒業生だからです」つまり、大学が企業の求める人材の育成に重点を置き過ぎたのではないかと指摘します。そこで今後は「自分の専門分野の研究はもちろん、専門外の分野にも目を向けた、幅広い視野を持つ社会的リーダーを育てよう」というわけです。

第2は個々の学生に対応した大学教育のシステム化を進めるということ。「講義・実験・研究などは、一人ひとりの学生の希望にそって対応していくつもりですが、いくら大学側がシステムを変えたとしても、学生がそれに応えてこなければ意味



▲大学の原点を語る 古浜学長

がありません。質問し、議論し、競争しながら学んでいくことは集団教育の利点であり、大学の本来の姿であります」それゆえ、正課の学科だけでなく課外活動への積極的な参加も重要なのだということでした。

第3は各学科の選択科目の範囲を広げ、個性を伸ばす教育を進めるということ、第4は個性化教育の一環として、授業だけではできない勉強を余裕を持って自由に行ってもらうために週5日制の実施を考えているということ、第5は大学院の研究体制の整備を強化しつつある、ということでした。

約40分間の古浜学長のお話が終わると、現実を見据えた前向きで熱意ある大学側の姿勢に大きな拍手が送られました。

発足4年、軌道に乗ってきた後援会の活動

続いて、宮崎昭二後援会副会長より後援会の活動状況について説明がありました。

「大学が力を入れている課外活動教育を援助する目的で後援会が発足してから4年目、やっと活動が軌道に乗ってきたところです。現場、在学生の約80%の父母が後援会に加入しています。本年度の年間予算は約8,000万円。これには大学の

創立70周年記念行事のための積立金等も含まれております。通常、年間の活動費は4,500万円で、そのうち3,600万円が課外活動費にあてられます。また、学生が大学周辺の地域活動に参加する場合の援助も行っています」



▲後援会の飛躍のためにと、宮崎副会長

と、後援会の幅広い活動について話されたあと、「今後、さらに後援会の活動を活発にしていくなめにも、是非父母の方々の100%の加入をお願いしたいと思います」と、締めくくりました。

各学年、学科別に分かれての懇談会

午後2時過ぎ、各学年・学科に分かれて教室に入り、先生方との懇談会が行われました。その一つ、建築学科1年の会場では担当の先生から、建築学科では何を学ぶのかということや履修科目についての説明と、学生たちの授業態度や卒業生の就職状況についての報告がありました。

続いて父母から、成績の評価や大学院への進学、就職問題などについて質問や意見が出されましたが、やはり成績に関することが最も多かったよう

です。午後3時、なごやかな雰囲気に進められた懇談会も終わり、解散。この後、希望者には個人面談が行われました。



▲担当の先生からの話に聞き入る

短い時間でしたが、古浜学長と宮崎後援会副会長のお話、学内見学、懇談会を通して、またお子さんの学生生活の一部を体験することで、父母の方々の大学に対する理解もさらに深まったのではないのでしょうか。

大学の在り方が問われている昨今、「大学と父母との連絡会」は、時代の要請に応えた意義のある行事といえます。今後もより多くの父母の方々の参加を期待したいと思います。

(各地区別の出席状況は裏表紙に掲載してあります)

■平成4年度就職内定先上位50社

順位	企業名	工 学 部					大 学 院						合計	昨年実績		
		機械	電気	通信	建築	土木	経営	機械	生産	電気	建築	土木			経営	原子
1	㈱日立製作所	1	1	4			3	3		2					14	25
	バイオニア㈱	3	2	3			4		1	1					14	19
3	東京電力㈱	2	1	1		1	1		1	3		2		1	13	6
4	大成建設㈱		2		6	2					1				12	16
5	富士通㈱	2	2	1			2	1		3					11	14
	キヤノン㈱	2		3			2	1	1	2					11	13
7	ソニー㈱		1	2					1	4			2		10	13
	日本電気㈱	2		3			4			1					10	13
9	三菱電機㈱	1	1				1			4				1	8	10
	オリンパス光学工業㈱	5	1	1			1								8	8
11	㈱東芝	1					1	1		3				1	7	18
	日産自動車㈱		1	1			1	3	1						7	14
	東急建設㈱	1			2	2	1				1				7	7
14	日本アイ・ビー・エム㈱	1					4			1					6	6
	沖電気工業㈱	1	1	3						1					6	9
	富士電機㈱	3	1				1			1					6	3
	富士ゼロックス㈱	2					1			1			2		6	6
	山武ハネウエル㈱	2	2				2								6	9
	東京都庁					5					1				6	13
20	三菱化成㈱	2					2			1					5	6
	富士重工業㈱	3		1				1							5	4
	清水建設㈱	1			1	1					1	1			5	6
	㈱フジタ				3	1					1				5	5
	㈱大林組				2	1					2				5	6
	カシオ計算機㈱	1	1	2						1					5	2
	㈱荏原製作所	2	1			1		1							5	5
	西松建設㈱				4	1									5	2
	㈱ケンウッド	2	1	2											5	3
	三井ホーム㈱				4	1									5	4
	積水ハウス㈱				5										5	6
32	横浜市役所				1	4									5	5
	三菱重工業㈱	1	1					1		1					4	5
	松下電器産業㈱			2					1	1					4	8
	石川島播磨重工業㈱	2	1	1											4	6
	鹿島建設㈱				2	1					1				4	13
	トステム㈱				2		1		1						4	2
	スズキ㈱	1		1				2							4	5
	日立電線㈱	1	1	2											4	0
	千代田化工建設㈱	1					2	1							4	3
	三機工業㈱	1			2			1							4	4
	㈱大気社	1	1		1			1							4	1
	㈱PFU			2			2								4	6
	㈱朝日工業社	3			1										4	1
	三菱冷熱工業㈱	3			1										4	2
45	三井造船㈱、TDK㈱、日野自動車工業㈱、日立ソフトウェアエンジニアリング㈱、前田建設工業㈱、 ㈱三協精機製作所、三井建設㈱、五洋建設㈱、日本無線㈱、カルソニック㈱、㈱関電工、関東自動車工業㈱、 日本電気エンジニアリング㈱、日本電気航空宇宙システム㈱、川崎市役所														各社 3	

クラブ活動紹介⑤

武蔵工大の大学祭MIT祭も今年で63回目。そして大学祭の名称が、MIT祭に変わってから、記念すべく10周年を迎えました。そこで今年は、今までの大学祭に見られない何か新しいものを創りたいという気持ちを込め、メインテーマを"Revolution～想像から創造へ～"に決定。このテーマのもとに、11月20日から23日の4日間にわたり、いくつもの催しが開かれました。ここでは、MIT祭期間中に行われた放送会のDJフェスティバルと、空手道部の第5回全日本理工科大学空手道選手権大会の2つの部を取上げ、ご紹介することにいたします。

チームワークで晴れの舞台を彩る、武蔵工大放送会

素晴らしい天気の中、冷たい風に吹かれながら、DJフェスティバルスタート。



11月22日(日)。秋晴れという言葉がピッタリなこの日、武蔵工業大学Aコートで、放送会主催・TBSラジオ協力による「第13回DJフェスティバル」が開催されました。これは、21日に一般客を集めて行われたゲーム大会「ラッキーパヘンチ」と並び、放送会的一大イベントといわれています。DJフェスティバル参加大学は、19大学。今日の本戦には、テーブル審査で残った12大学が出場します。フェスティバルは、8分間のオリジナルDJと各校の宣伝(スポットCM)を競いあうもの。参加校から1名ずつの審査員と、ゲスト審査員・TBSアナウンサーの岡崎潤司氏の計13名が、公正な審査を行います。

武蔵工大の代表は、電気電子工学科2年・津久井満弘君。昨年、猪狩達也君(4年生)とコンビを組み、見事優秀賞に輝いた実績の持ち主です。今回は、「嘘」をテーマに最優秀賞を狙います。

時間はお昼、ちょうど12時。グレーのスーツに身を包んだ司会の吉沢裕道君(経営工学科2年)と相模女子大・清原理恵子さんが登場し、いよいよDJ大会のスタートです。

さあ、最優秀賞・優秀賞・CMスポット大賞・審査員特別賞など各賞の行方は、いかに…。

▼司会の吉沢裕道君と清原理恵子さん その調子でLet's go!



踊りあり、凝った衣装あり……。各大学の個性が炸裂した本戦。



フェスティバルは、4大学を1ブロックとし、3ブロックに分かれて繰り広げられます。トップバッターの拓殖大からスタートし、実践女子大、東京家政大、大妻女子大と続いたところで、ちょっと一息。アトラクションタイムとなりました。アトラクションNo.1は、「パズルゲーム」。ボードに貼られた段ボールのパネルを一回はがして、司会者の指定する形に組替えるというルールなのですが、これが大変。思った以上に、パネルの粘着力が強く、出場者たちが張り切れば張り切るほど、段ボールはボロボロに…。進行係がその修理にステージ上を走り回る一幕もありました。

ハプニングといえば、DJ中に、突風にあおられて机をカバーしていた板が何度も倒れてしまっ

たこともありました。大笑いのアトラクションタイムの後は、中央大、相模女子大、共立女子大、武蔵野女子大の登場。このあたりになると、風が徐々に強くなり、とにかく寒い!! 観客も審査員も震えながら、進行を見守ることとなりました。お尻を動かして文字を書くアトラクションNo.2・尻文字伝言ゲームは、女の子が我を忘れて(?)大奮闘。会場騒然の面白さでした。

各大学のDJのテーマは、とってもバラエティ。映画、クラシック、KISS、占い、ファッション、アルバイトなど、それぞれに工夫を凝らした演出をしていました。今回のフェスティバルに向けて、皆さん、かなり練習を費やしたようで、とくにペアで出場した大学の絶妙な間合いには感心させられました。また、衣装もベアルックだったり、はっぴを着てきたりと、聞くだけでなく、視覚的にも十分に楽しめました。

裏方に徹する人、

ステージに出る人、とにかくみんな大忙し。



ところで、ステージ司会、音声、進行以外の放送会員は何をしているのかというと…。インフォメーションセンター、ステージ、教室発表の3つに分かれ、各自持ち場でそれぞれの役目を果たしていました。811教室では、「ダダの部屋」と銘打ち、今までに個人またはグループで作成した作品を上映。作品と作品の間にはDJも行われ、賑やかなムードで進められていました。



▲DJ大会の進行は、綿密な打ち合わせによって…。
左から後藤正和君(電気電子1年)と永峰久美子さん

放送会

顧問：今井章久 助教授(電子通信工学科)
会長：西沢貴之(電子通信工学科3年)
主な年間活動◆4月新歓コンパ/5月春の番組発表会・合同コンパ/6月世田谷大学放送連盟前期モニター会/8月夏合宿/11月MIT祭参加・DJ大会など/12月世田谷大学放送連盟後期モニター会/3月春合宿「過年：昼の放送」



▲教室発表の裏方さん達

DJフェスティバルは、会場セッティングから進行まで、全部自分たちで行うのですから、いろいろ苦労があったそうです。開催のために、準備は4月から始められており、スタッフ集め、案内状の送付、アトラクションの決定、ステージづくり、リハーサルなど、さまざまな段階を経て、ようやく今日の日を迎えたわけです。「イベントを成功させよう」という気力が会場から感じられたのは、一人ひとりが一生懸命だったからなのでしょう。

とにかく、雰囲気と居心地の良さはサイコー。



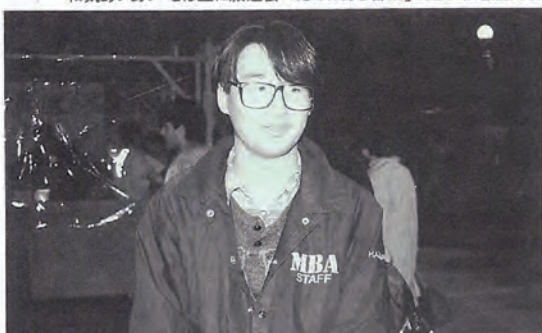
さて放送会は、文団連本部と体育会本部と同じ扱いとなっている特殊団体です。現在、1～4年生まで会員は29人。4年生は、放送会の歴史の中でも、一番人数が多い代だそうです。

「和気あいあいっていうのは、正に放送会のことを言うんだろうな。OBの方もいい人ばかりで、今回のDJ大会もそうだけど、合宿とかイベントの時には、必ず顔を出してくれるし…。幅広い年齢層の方と知り合いになれた点が、本当に良かった。いろんな話を聞いて、いろんな考え方ができるようになったしね。それもこれも、人が集まりやすい雰囲気が影響しているんじゃないかな。」とは、昨年のDJフェスティバルでチーフを務めた市毛隆史君(機械工学科4年)の弁。今日一日、見



▲機材のセッティングに余念がない左から池田祐一君(電子通信1年)と会長の西沢君。

▼「*和気あいあい」とは正に放送会のためにある言葉」と語る市毛隆史君



ていた限りでも、たくさんのOBの方たちがイベントを観に来てて、会の雰囲気や和やかなことが良くわかりました。また会長を務める西沢貴之君(電子通信工学科3年)をはじめ、津久井君、永峰久美子さん(電子通信工学科3年)など数多くの会員が、「やりたいことができる自由さが好き」と言っています。毎日実施している昼の放送や水曜の全体のミーティングも、楽しく行っているそうです。オーディオ機材・ビデオ機材が集まっている放送会室は、彼らの城なのかもしれません。代々伝わってきた機材には、放送会の歴史が刻みこまれているのでしょう。一昨年建て直して綺麗になった放送会室で、実に仲良く、楽しく活動している放送会。いつまでも、このいい雰囲気を大切にしてほしいと思いました。

いよいよ発表。審査結果!!



さて、DJフェスティバルの方に戻ることにしてしまおう。清泉女子大、日本女子大、明治大と続いて、トリは武蔵工大・津久井君。演芸調(?)というか、独特の語り口で8分間の持ち時間を十分に楽しませてくれました。さて、すべての大学が出揃い、審査発表!! CMスポット大賞には、大

▼審査委員を務めたTBSアナウンサー・岡崎潤司氏



妻女子大学放送研究会が受賞。優秀賞は、迫力で押した明治大学放送研究会。栄えある最優秀賞は日本女子大で、なんと大会5連覇だそうです。そして、武蔵工大・津久井君は審査員特別賞を獲得しました。



▲最優秀賞に輝いた日本女子大チーム

それぞれの講評が終わると、最後に真打ち・TBSアナウンサー岡崎潤司氏登場。的確な審査の後の見本演技…もチョットこけ気味でしたが、さすがプロ。寒さに震える観衆の心をシッカリつかんでいたようです。

その岡崎潤司氏から「去年よりも全体的にレベルがアップしていて、なかなか良かった。」とお褒めの言葉をいただくほど、充実していた第13回DJフェスティバル。放送会が持つ伝統の雰囲気を保ち続け、来年も再来年も成功させてほしいものです。スタッフの皆さん、お疲れさまでした!!

▼熱演の武蔵工大代表・津久井満弘君



▲すっかり日も暮れた会場で行われた表彰式

"気合"と"技"を競い合う、武蔵工大空手道部



出場16校の選手団勢ぞろいの開会式 ▶



「空手」と聞いて、皆さんはどんな印象を受けますか。厳しい練習、男らしさの世界、礼儀正しいきびきびとした態度など、人それぞれだと思いますが、はたして今の若者が厳しい練習に、上下関係についてどのように理解しているのでしょうか。ここでは、11月23日(月)、MIT祭最終日に行われた「第5回全日本理工科系大学空手道選手権大会」を通じて、武蔵工業大学空手道部の活動をお知らせします。

張り詰めた雰囲気は、熱い気合で破られた。

理工科系大学空手道連盟が主催しているこの大会も、今年で5回目(東日本理工科系大会より通算9回目)。今回は、主幹校である武蔵工大が会場です。9時30分、いよいよ開会式。大会会長である武蔵工業大学・古浜学長の挨拶の後、武蔵工大空手道部主将の市川毅君(建築学科3年)の選手宣誓により、参加16校で争われる大会が幕を開けました。さてさて、舞台中央に並べられた燦然と輝くトロフィーを獲得するのは、一体どの大学なのでしょうか…。

今大会は、団体組み手戦、団体型戦、個人組み手戦と3つの部門に分かれています。まずは、団体組み手のトーナメント戦。武蔵工大はBコート第3試合です。

ルールは、3つの1本か6つの技有り、1本と技有りの合計が3本になった時、あるいは反則・失格・棄権により勝敗が決まる仕組みに——。つまり1本=2つの技有り=2ポイントとなり、6ポイント先取した方が勝ちとなります。

応援席にも伝わる、ピリピリとした緊迫感。勝負の行方は…。

11時、OBの方が見守る中、武蔵工大VS埼玉工大の試合が始まりました。先鋒は主将の市川君。「慌てるな!!」の声を背に、果敢に攻めます。いきなり反則を取られましたが、その後は自分のペースで試合を進め、確実にポイントを奪取。危なげなく勝ち、幸先のいい滑り出しとなりました。

次鋒は倉岡克行君(建築学科2年)です。中段の蹴りが決まって1対1とした後、勢いあまって相手の顔面に足を当て、ダウンさせてしまい、反則を取られてしまいました。ここで相手が起き上がるまで、しばしの中断です。この試合だけでなく、Aコートで行われている試合でも、かなりの選手が倒れたり、脱臼したりと、空手の激しさをまざまざと見せつけられました。さて、反則2回で相手に1ポイント取られてしまうルールのため、絶対絶命。倉岡君ピンチ!!——とドキドキしながら声援を送っている間に時間切れ。惜しくも敗退で



▲素顔は平和主義者そのもの。倉岡克行君



▲勢い余る倉岡選手の上段蹴り

▼一瞬の隙を攻める上森選手



▲空手の鬼も、語ればニコリ八方美人の上森博之君

空手道部

顧問：佐藤 寛 講師(建築学科)
主 将：市川 毅(建築学科3年)

部員数：7名

主な年間活動⇒4月新歓コンパ/6月六工大リーグ戦/7月昇級昇段審査/8月夏合宿/11月全日本理工科系大学空手道選手権大会/12月昇級昇段審査・OB杯争奪戦/1月鎮開き/3月春合宿

す。こうなったら、部の会計も担当している中堅・橋本宗治君(建築学科3年)に、倉岡君の分も頑張ってもらいましょう。開始早々、1ポイント先取。小柄ながらキビキビとした動きで、相手のスキを突いては果敢に攻め入ります。応援のゲキも効果を奏したのか2ポイント先取。上段の蹴りも鮮やかに決まり、なおも攻めて、攻めて、攻めまくっているところで判定。白旗がパッと一斉に上がり、橋本君の圧勝。ここまでで3人が終わり、2対1。後1つ勝てば、2回戦進出です。さて勝利を賭けた副将戦。上森博之君(電気電子工学科2年)の登場です。かなり身長差がある相手のため、動きが取りにくく、ちょっと苦戦。上段突きなどを決められ、リードを許します。相手の声が大きく、気合負けしそうと思ったのが悪かったのか、惜しくも判定負けに…。やはり、そう簡単には勝たせてはくれません。そして、満を持しての大将戦。高橋宏典君(機械工学科3年)次第で、1回戦の勝敗が決まります。相手も必死なため、攻め続けても、

なかなかポイントが取れません。気合充分の試合が展開されたものの、結局決着がつかず、5選手全員の技の数での判定戦に。危ないところでしたが、無事2回戦に進むことになりました。

さあ、2回戦。闘いは、さらに迫力アップ。

ハラハラした観戦を終えたのも束の間、12時18分、工学院大学との2回戦がスタート。メンバーと順番は、先程と同じです。1回戦同様、先鋒で勝って次につなげたかったのですが、市川君はポイントを稼いでいながら残念無念の反則負け。ちょっと悔い残りそうです。今度は倉橋君が挽回する番——が、その願いも空しく破れました。なんとか、ここで意地を見せたい武蔵工大は、橋本君に期待をかけます。しかし、試合開始早々に反則。その後も劣勢が続き、間合いを開けて、もう一度、仕切り直しを試みてみても時すでに遅し。結局判定負けとなってしまいました。副将の上森君は技を出しても、なかなかヒットせずここでも判定負け。大将の高橋君には、何とか一矢を報いてほしいと応援にも俄然熱が入ります。1対1。2対2。3対3といい勝負だったのですが、終わってみれば4対3で判定負け。本当に残念な2回戦敗退となってしまいました。



▲瞬時の1本決め、高橋選手

試合が終れば
笑顔がこぼれる
▼高橋君



▲大将の高橋君に声援を送る左より

上森博之君、橋本宗治君、倉岡克行君、市川毅君



▲個人戦に奮戦する市川選手

▼全学的有名人、市川毅君



▼根性がつきましたと、岡本秀行君



試合の成行きを見守る、
▼監督の御館欣也氏



もっともっと強くなりたい。
でも、それだけではないのです。

「1回戦はイケると思っていたけれど、技の本数で勝った判定勝ちと、予想以上に苦戦しました。2回戦は自分が反則負けをしてしまって。実力は同じようなものだったんだけど…。型は11校中5位。真ん中の成績でした。個人戦は2人出場しましたが、どちらもダメでした。」と主将の市川君が悔しそうに話してくれました。

武蔵工大の空手部は、昭和24年創立。昭和36年には全国大会で優勝という、輝かしい伝統を誇っています。現在の監督は、54年卒のOB御館欣也さん。部員7名と少人数ながら、週に4日、基本を中心として、組み手と型の練習を行っています。ほとんどが経験者ですが、岡本秀行君（電子通信工学科1年）のように大学から空手を始めた人も…。「大学に入って何もやらなかったら、後々後悔すると思って…。根性がつきそうだし、カッコよかったので、空手部に決めました。」と答える岡本君に、「経験が無くても本人の努力次第で、大丈夫。練習の時の集中力さえあれば…」と市川君も太鼓判を押しています。

練習が辛くて、大変じゃないですか？ と聞くと、「勉強の方は上手く時間を使って、しっかりやっているから平気。上下関係はそれなりに厳しいけれど、練習以外では、和気あいあいですから、そんなに怖くないですよ!!」という明るい答えが返ってきました。技術的な指導は週1回、国際松濤館空手道連盟の本部指導員・村上さんからミッチリ教わるそうです。その村上さんいわく、「空手をやっていることで、自分に自信をつけてほしい。キツイ稽古に耐えたという精神力や空手を通じて

知り合った友だちを大切にしてほしいですね。たとえ空手を辞めたとしても、「大学の時に空手をやって良かった」と思えるように指導していきたいです。」とのこと。辛くても、部活動を辞めたいとは思わない、と言い切る部員たちは、勝ち負けだけではなく、心の芯も強くなっているのではないのでしょうか。

とにかく部員を増やして、活気のある部に。

現在の空手道部の悩みは、部員が減っていること。「夏合宿は、同じ流派の北里大学と合同合宿をしたんですが、やっぱり人数が多いと賑やかでいいですね。ライバル意識も生まれるから活気もあるし。3年生の部活動は、例年3月までということですが、部員が少ないので、なるべく練習に出るつもり。」と市川君。監督も師範も長年の伝統を受け継ぎ、今以上に活気的な空手部を創りあげるために、OBたちの協力が必要と考えています。今年も残念ながら2回戦突破ならず——の武蔵工大空手道部。来年こそはたくさんの部員を集め、さらに精進し、ぜひ、宿願を果たしてもらいたいのものです。

最後に、頑張った選手たちはもちろん、今大会の進行および審判を務められた各大学のOBの皆さんに——。本当にどうもお疲れさまでした。



▲入賞者を表彰する星野学生部長

"キャンパストピックス"

➡ 古浜庄一学長が学長就任2期目を迎える。

古浜庄一学長は平成元年9月1日に学長に就任されましたが、今年9月新たに学長に任命されて2期目を迎えられました。

1期目の3年間は大学院の整備・拡充や入試制度の改革をはかり大学の発展のため努力されています。

また、最近は大学設置基準の大綱化に伴うカリキュラムの改訂や大学の自己点検、評価等の大学改革に取り組む一方、専門の水素自動車の研究にも打ち込まれており、今後のご活躍が期待されます。

なお、古浜学長はこのたび古希を迎えられ、先日都内において大学関係者や卒業生等によりお祝の会が盛大に行われました。

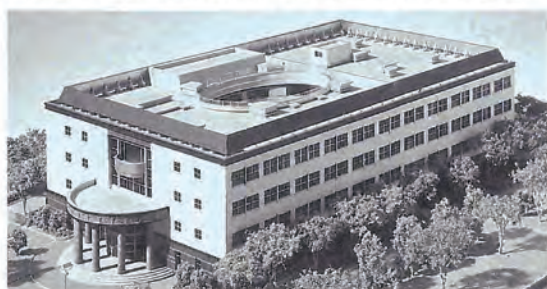
➡ 五島記念館の起工式が行われる。

平成3年4月完成した3号館Ⅰ期工事に引き続き、Ⅱ期工事が建設されることとなり、去る10月27日に起工式が行われました。この建物は「五島記念館」と命名され、竣工は平成6年2月末の予定です。

Ⅱ期の建物規模は、鉄筋コンクリート造で地下1階、地上4階建て延床面積は約4,285㎡(既設Ⅰ期との合計約7,000㎡)で、主に電気電子工学科および電子通信工学科の研究室や実験室が備えられ、研究施設の充実に供し、これにより学内全体の面積的な要望も解決されます。

4階の南側には学内で会議、集会等、多目的に使用できるメモリアル・ホールが設けられます。

また、館内には学校法人五島育英会の創立者であります五島慶太翁の胸像が建立される予定です。



▲五島記念館完成予想図

➡ 著名な講師により好評な「文化講演会」シリーズ「若者に何を期待するか」

大学の教務委員会・学生部委員会・後援会の3者共同で学生が専門教育の他に、多岐に亘る教養を身に付けることが重要との観点から企画して開催している「文化講演会」は今年も著名な講師陣を招いて学生、教職員から好評を得ています。

特に今年度は第1回目のテレビ朝日の女性ニュースキャスター小宮悦子さんを迎えての講演会では、会場に入れない学生がでるほどの人気となり、好評のうちに第1回がスタートしました。以後の文化講演会も多数の学生、教職員および近隣住民の方々も聴講し好評を博しています。

平成4年度に開催された「文化講演会」の日程、テーマおよび講師は次のとおりです。

第1回 平成4年6月3日(水)

テレビ朝日ニュースキャスター 小宮悦子氏
テーマ「若者に何を期待するか」
—自分自身への挑戦—

第2回 平成4年7月8日(水)

元明大教授、評論家 栗本慎一郎氏
テーマ「激動のいま、若者に期待する」

第3回 平成4年10月14日(水)

ゼンコーポレーション代表取締役会長 堤清二氏
テーマ「若者に何を期待するか」



▲講師 堤清二氏

➡ 新しい入試=自己推薦入試が行われる。

本学では常々入学試験制度の研究、改善を行っておりますが、平成5年度から新たに自己推薦入学試験制度を導入することになり、去る11月15日入学試験が実施されました。

この制度は従来の学力検査を主体とした入学者選抜方式と異なり、工学・技術の学習に意欲のある者で、かつ他に秀でた特別な能力、見識、活動経験等を有する入学者を積極的に受入れるもので、ノン・アカデミックな資質が重視される選抜方式といえます。

当日は、6学科45名の定員のところ全国から649名の志願者があり、あらかじめ提出された自己推薦調書にもとづいて面接試験が実施されました。自己推薦の分野も文化・学芸、スポーツ、科学・工学および生徒会、社会的活動、成績優秀者等広範囲に渡り、合格者の中から従来になかったキャラクターの学生が入学し、キャンパスがより活気あるものとなることが期待されています。

なお、従来から実施されている指定校推薦入試は10月25日に行われ、合格者209名(内女子27名)が決定しています。



▲集団面接風景

平成4年度後援会の第2回理事会が開催される。

去る11月14日(土)午後2時30分から大学内において今年度2回目の後援会理事会が役員、理事16名(委任出席2名)の出席のもとに開催された。

理事会は金原会長の開会の挨拶で始まり、下記の議案について審議を行い原案のとおり了承された。

議 事

第1号議案 平成4年度 後援会事業経過について
(上半期分)

第2号議案 平成4年度 後援会会員数について

第3号議案 平成4年度「父母との連絡会」の結果について

第4号議案 後援会の次年度に向けての事業について

4-1 平成5年度 後援会主要会議等予定(案)

4-2 平成5年度 後援会役員、評議員構成(案)

4-3 平成5年度 入学予定者に対する入会案内の
送付日程(案)

なお、後援会関係の基本積立金の取扱いについてはその具体的な案を次の理事会までにまとめることとした。

▶課外活動短評

1. 航空研究部は、8月1日に琵琶湖畔で開催された第16回鳥人間コンテストに念願の出場を決め、日本テレビ系で放映された。
2. 藤巻正史君(機械工学科3年)は、8月8日から9日間オーストラリアで開催されたPIAA・オーストラリアンサファリにナビゲーターとして参加し、6,500kmを完走し、49台中23位の成績を収めた。
3. 材料力学研究室(機械工学科)で研究開発したソーラーカーが、8月中旬に石川県で開催されたソーラーカー・レースに参加し、49台中28位の成績を収めた。
4. モーターサイクル部は、9月上旬に開催された出光カップキャンオフ大会(学生モトクロス大会)に参加し、オープンクラスにおいて上位入賞を果たした。
5. 自動車部と有志の団体が、9月20日茨城県で開催された第12回ホンダエコノパワー燃費競技大会に参加。73台中37位(自動車部)と40位(有志団体)の成績を収めた。
6. 柔道部は、10月25日本学で行われた四大学柔道大会で優勝を果し、杉本昌由君(土木工学科3年)が最優秀選手として表彰された。
7. バレーボール部は、秋期関東大学リーグ戦の7部リーグ戦において2位となり、6部7部入替戦では、千葉大(6部7位)を降し、6部昇格を果たした。
8. 囲碁部は、学生囲碁秋季リーグ戦において5部2位の成績を収め、4部昇格を果たした。
9. ラグビー部は、11月29日全国地区対抗ラグビーフットボール大会の関東第1区大会決勝戦で、東京経済大学と対戦し、23対8で勝ち3年連続4回目の全国大会(1月2日名古屋市の瑞穂ラグビー場)へ出場が決定した。
10. アメリカンフットボール部は、関東大学アメリカンフットボールリーグ戦3部Aグループで、5戦全勝し見事に優勝を飾った。
2部3部入替戦は、12月6日江戸川競技場で、玉川大学(2部7位)と対戦し、28対6で勝ち2部リーグ昇格を果たした。

平成4年度「大学と父母との連絡会」について

平成4年度の「大学と父母との連絡会」は、7月12日(日)の沖縄県那覇市を皮切りに、9月27日(日)の東京地区までの間、全国25会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には会の運営等にご協力いただきました。

■平成4年度「大学と父母との連絡会」の出席状況

開催地	開催日	会場名	対象県	対象者数	出席者数	出席率	平成3年度
旭川	9月5日(土)	旭川ワシントンホテル	北海道	55名	18名	32.7%	30.6%
札幌	9月6日(日)	札幌ガーデンパレス					
秋田	9月11日(金)	秋田ビューホテル	秋田	30	13	43.3	8.3
			青森	15	2	13.3	7.1
			岩手	19	5	26.3	42.1
仙台	9月12日(土)	ホテルサンルート仙台	宮城	29	7	24.1	57.1
			山形	13	1	7.7	22.2
福島	9月13日(日)	福島ワシントンホテル	福島	43	16	37.2	37.2
宇都宮	7月25日(土)	宇都宮ロイヤルホテル	栃木	59	23	39.0	41.4
水戸	7月26日(日)	水戸京成ホテル	茨城	89	30	33.7	20.0
高崎	8月29日(土)	高崎ワシントンホテル	群馬	54	17	31.5	40.0
新潟	8月30日(日)	ホテルイタリア軒	新潟	42	19	45.2	50.0
東京	9月27日(日)	本学	東京	984	137	14.0	16.6
			神奈川	1,404	208	14.8	13.9
			千葉	260	32	12.3	16.1
			埼玉	290	32	11.0	17.3
長野	9月19日(土)	長野ファーストホテル	長野	116	41	35.3	27.2
甲府	9月20日(日)	甲府ホテル	山梨	61	23	37.7	46.8
富山	9月6日(日)	富山エクセルホテル東急	富山	34	14	41.2	51.3
金沢	9月8日(火)	金沢東急ホテル	石川	47	16	34.0	43.5
			福井	10	2	20.0	30.8
静岡	9月5日(土)	日航会館	静岡	210	77	36.7	32.6
名古屋	9月4日(金)	名古屋栄東急イン	愛知	72	24	33.3	45.7
			岐阜	23	1	4.3	22.7
			三重	28	6	21.4	22.9
大阪	9月3日(木)	大阪東急イン	大阪	10	3	30.0	18.8
			滋賀	7	1	14.3	16.7
			京都	13	1	7.7	16.7
			奈良	5	2	40.0	50.0
			和歌山	10	2	20.0	10.0
岡山	9月5日(土)	岡山東急ホテル	兵庫	15	4	26.7	16.7
広島	9月6日(日)	広島インテリジェントホテル	岡山	30	12	40.0	3.8
			広島	75	24	32.0	55.8
松江	9月4日(金)	松江東急イン	山口	29	10	34.5	27.6
			鳥取	10	3	30.0	8.3
松山	9月6日(日)	シャトーテル松山	島根	14	6	42.9	15.4
			愛媛	16	9	56.3	50.0
高知	9月4日(金)	ホテルサンルート高知	香川	13	3	23.1	11.1
			高知	14	9	64.3	18.1
福岡	9月20日(日)	ホテルステーションプラザ	徳島	12	4	33.3	9.1
			福岡	50	22	44.0	46.5
			佐賀	4	1	25.0	33.3
			長崎	10	4	40.0	37.5
大分	9月19日(土)	大分パークインホテル	熊本	7	1	14.3	87.5
			大分	23	16	69.6	40.9
			宮崎	16	4	25.0	36.4
那覇	7月12日(日)	沖縄東急ホテル	鹿児島	11	1	9.1	70.0
合計			沖縄	11	9	81.8	100.0
				4,392	915	20.8	21.7